

ドケチレポート

こんにちは、マスタングです。

いきなりですが、僕は年収1億円の師匠と
出会ってビビるぐらい人生が変わりました。

昔の僕はドケチで卑屈で人の悪口ばかり言っている
今とは180度違う人間でした。もう真逆です。別人間です。
人から好かれる要素ゼロでした。当然友達もいません。

貧乏な上にコンプレックスだらけだったので
お金を持っている奴らを見ると
勝手にムカついてました。

本当クソみたいな人間で
例えば海外旅行に行く人を見て、

「は？わざわざ金かけて危ないところに行くとか馬鹿じゃねーの？」

こんなことばかり言っています。

心が貧しすぎるのです。

全く困ったものです。

そんなちびまる子ちゃんの永沢君みたいな僕でしたが、
今は普通に海外を旅して人生楽しんでます。
期限も決めずにふらーっと遊びに行きます。

お金も普通に使っています。
お金ってめちゃめちゃ便利です。
あると人生の選択肢がビビるぐらい広がります。

なんかもう価値観変わりすぎですねw

なぜこうなってしまったかというと、
「ケチだと全てにおいて損をする」という事を
悟ったからです。

ケチだと、
人も離れていくし、
成長も出来ないし、
良い情報も降りてこないから
機会損失も半端じゃない。

良いこと無しでした。

一方、人生を楽しんでいる人たちは
使うべきところにはちゃんとお金を使って
物質的にも精神的にも
最高の人生を歩んでいるということが分かりました。

もちろんお金が全てとは言いませんが、
昔の僕はあまりにもケチりすぎました。

僕は現在28歳ですが、
おかげさまで起業して5ヶ月目には月収40万円を
超えるようになりました。

今はネット上にサイトを作ったり、
サイト内で商品の代理販売みたいなことをやっています。

まだ全然大したことないですが、
何年もやっていて一円も稼げない人もいるので、
まあ悪くはないと思います。

(ぶっちゃけ正しいやり方を勉強すれば全然難しくないです)

さらに忙しいというわけでもありません。
サラリーマン時代は朝8時半から夜10時まで働きっぱなしで
心身ともに疲れ果てていましたが、今は気分が乗った時に
1、2時間働くだけなので時間があります。

そんなに贅沢する方ではないので、
お金にも時間にも困ってません。

なぜこんな生活が出来るのかというと、
僕のやっている事業はインターネットのシステムが
僕が働かなくても分身のように働いてくれて、

人々に価値を提供してくれるので勝手に
収益が上がるからなのです。

僕はそれを5ヶ月ほどで作りました。
現在は月収100万円を目標にシステムを強化しています。

ま、今でこそこのような不自由ない生活を
送れるようになりましたが、、、

昔は悲惨な人生を歩んでました。

ケチでどうしようもなく、
毎日閉塞感のようなものを感じて生きていました。

それをここに記したいと思います。

僕は18年間ケチな価値観で育ちました。

正確には、小さい頃は
ケチではなかったのですが、
母親のお金の使い方が下手くそすぎて、
家がどんどん貧乏になり、
その結果ケチになりました。

高校生ぐらいになると、両親はお金のことで
毎日怒鳴りあうようになりました。

もっと生活費を入れるだとか、
車であちこち歩くのはガソリンがもったいないだとか、
電話しすぎて電話代が無駄だとか。

お互いがお互いの悪いところを探しあっていて
些細なことでも喧嘩が始まるのです。

こんな調子だったので、
我が家には人生を楽しむという概念は
1ミリもありませんでした。

なんかもったいないですよ。

僕の家庭は、
父は儉約家で、母は超がつくほどの浪費家でした。
田舎で持ち家なのに、生活費で30万円もらっても
足りないと言う意味不明な浪費家です。

父は仕事が肉体労働だったので、
若い頃はバリバリ働いていましたが、
年を取ってくると段々仕事ができなくなります。

母はその間ずっとアホみたいに
お金を使うのでどんどんお金が無くなり、
あっという間に貧乏になりました。

で、お金がなくなると、イライラするので、
それが原因でケンカが勃発するのです。

僕が直接怒られることはなかったのですが、
親がお金のことでケンカしているのを見ていると、
非常に悲しい気持ちになります。

当時の父は母に

「何にそんな金使うんだ！！」

が口癖だったので、

それを聞いていたら、

「お金を使う＝悪い事」

という感じがして、お金を使う行為に
罪悪感を感じるようになりました。

どこからどこを贅沢として、

どこからどこを質素とするかは家庭によって変わりますが、
僕にとってはお金を使うという行為は

一生懸命働いている父のお金を

減らす事になるので

ほとんどの家庭は贅沢に見えました。

だから他人がお金を使っているのを見ると
気に入らない感情がわくのです。

当時の僕はケチそのものであり、

僕は同級生にそれを指摘されて、

馬鹿にされることがしょっちゅうでした。

でも自分がケチだとは認めたく無いので、

なんとかして自分を正当化しようとしています。

例えば僕はしまむらで買った服ばかり着ていました。
僕的には安いし、おしゃれかどうかは置いといて
色んな種類があるし、

しまむら is 神だと思ってたのですが、
若さというのは非常に残酷でして、
思ったことをまんま言ってしまいます。

「ぎゃははは、お前の服だせ〜」
よく言われることでした。

僕はここで
「いやそうなんだよね。服欲しいんだけど金ないんだよね。
おしゃれになりて〜」

とか言えるぐらいの素直な性格であれば問題ないのですが、

「雑誌の服なんて、ただたけーだけだろ。
あんなぼったくり買う奴の気が知れんわ」

と強がるような性格でした。
本当はおしゃれもしたいし、モテたいのにね。

でも、そしたらお金が減るので
「別に」と興味が無いフリをするのです。

だってそうしないと自我が保てず精神崩壊するからです。
僕は親が光熱費や食費などの生活費がかかりすぎだと
ケンカしているのをずっと聞かされてきました。

バスの定期代すら払えるか払えないかの
瀬戸際なのに、そんな状態で服が欲しいなんて
言える訳がありません。

なのでケチにならざるを得ませんでした。
我慢＝正義。ひたすら我慢です。

確かに世の中には、我慢が必要な場面はあります。
ですが我慢をするべきところとそうじゃないところも当然あり
ます。

僕はケチすぎて本来お金をかけるべきところですら
我慢をしていました。

例えば受験勉強の時、

僕は参考書にお金をかけるのがもったいない気がして、いつも本屋で立ち読みしていました。

今考えると本当にアホです。
参考書なんて買ってもせいぜい1000~2000円です。

普通に考えたら受験に失敗する方がよっぽど人生もったいないです。

ですが、当時はそのような価値観でした。

(案の定、第一志望の大学には落ちました。)

100円や200円のことでも親はケンカするので、そんなのを何度も見てればそりゃもったいないと思うようになります。

冷静に考えたら、支出を減らすのには限界があるので、バイトをするなり収入を増やす方が手っ取り早いのですが、当時の僕はお金について知識がなさすぎたので、そんな発想は微塵も浮かびませんでした。

なのでケチる事しか考えません。
それしか方法が無いと思っていたので、

人生我慢だ。ケチらないと大変なことになる。

このような、全てを犠牲にしてもお金を優先する
誤った価値観になり、異常なまでにコスパを気にするよう
になります。

例えば、友達が
「この前旅行に行った～」

という話をしたとしましょう。

もう旅行に行っちゃう時点で
僕からしたら金持ちなのでムカつきます。

で、
「お前旅行どうやって行ったの？」

と聞きます。

そしたら
「え、新幹線だけど？」

とかいうわけですよ。

この時点で僕からしたらもう敵認定です。

あこいつ、贅沢だ。と思うのです。
新幹線とか高めだろ。
金持ち自慢うぜえ。くそったれと。

本当は羨ましいだけなのに、、、

で、

「夜行バスで行った方が安いよ？寝て起きたら着くし。
そっちの方がコスパ良くない？」

とかいうわけですよ。

そしたら、

「えー夜行バスとか無理だよ、疲れるじゃーん！！」

と言ってくるので、

「えー疲れたことなんか一度もないけどなー！！」

心の声：は！夜行バスごときで疲れるとか雑魚かよ！！

と、心の中で相手を見下して、
精神の安定を保っていました。

超余計なお世話だし、超性格悪いですよね。
ですけどこーゆうことを平気でやりました。
超絶に貧乏人の価値観です。

確かに夜行バスは寝てる間に着くけれど、
それで疲れて旅行を楽しめなかったら
せっかくの旅行がもったいないんだよ。。。
コスパ悪いんだよ。。。

それが嫌だから新幹線を使っているのに、
当時の僕には理解できません。

ケチマインドが染み付いているので
お金が全ての基準だからです。

ちなみにケチとコスパを追い求めることは
似ているようで全く違います。

コストパフォーマンスが高いというのは
お金、精神、時間、肉体、全ての総合的な満足度が
高いということであり、

昔の僕のように「安ければ何でも良い」

というのはただのケチです。

コスパが高いものについて具体的な事例を出すと、
僕の家には超音波電動歯ブラシがあります。
これは超絶にコスパが高いです。超お勧めです。

単純に値段だけで言ったら
12000円ぐらいするので、歯ブラシにそんなに
お金をかけるのは無駄に感じるかもしれません。

しかし、ものすご〜〜〜くキレイに磨けます。
磨き終わった後のすっきり感は
普通の歯ブラシの比になりません。

使ったら絶対感動します。

元々僕はめんどくさがりで、
歯磨きがあまり好きじゃなく、
夜眠いときはサボってしまうことがしばしばでした。

歯医者さんの定期検診に行くたびに注意されるし、
朝起きた時の口内の気持ち悪さは半端じゃないので

「ちゃんとやらなきゃな〜」

とは思っていましたが、モチベーションが上がらず
ついついサボってしまっていました。

しかしそんなある日、超音波歯ブラシに出会って
僕の歯磨きライフは変わりました。

超絶に楽チンなのです。
歯に当ててちょっと動かすだけなので
普通の歯ブラシで磨くよりも何十倍も楽です。

しかも、簡単に磨けてしまって時間も
かからないので精神的なハードルが鬼低いのです。

極めつけに磨き終わった後の口の中の爽快感は
半端じゃありません。

歯ブラシを変えただけでこんなに変わるなんて
思いもしませんでした。

気分がスッキリすると仕事のモチベーションも
上がるので集中力も全然違います。

完全に良いことだらけです。

実際に歯医者さんでも「よく磨けていますね」と褒められるようになりました。

普通の歯ブラシを使っていた時はいつも磨き残しを注意されていましたが、電動歯ブラシに変えてからは全く注意されなくなりました。むしろ褒められます。

褒められるとやる気が出るので今は歯磨きが楽しくてしょうがありません。

こんな風にお金を払って便利なものに投資するだけで、劇的に人生が変わるのです。

たかが歯ブラシです。

でも、たったそれだけでも日々の生活の質が大きく変わりました。

こういった積み重ねが人生の充実度に影響すると思うので僕は便利なものには進んでお金を使っていこうと思います。

しかし、今でこそこんな簡単に電動歯ブラシを勧めています、
昔だったらこんな素直なことは出来ませんでした。

それだけ僕のケチな価値観を破壊するのは
容易ではなかったのです。

お金をかける奴はアホだと。
ケチが最高だと。

こんなことばかり言っているので、
友達からは嫌われていきます。

そりゃそうです。
相手のことを理解しようとせずに一方的に自分の価値観を
押し付けてくるからウザいのです。

僕はどんどん孤立していきました。
お金を使っている奴がいたら、
「あいつも将来ウチみたいになるな」
などと勝手に決め付けて、

自分の敵をどんどん増やしていきました。

超余計なお世話ですよ。

固定観念でガチガチです。

おかげでどんどん人生が不自由になっていきます。

当然モテませんし、

友達もどんどん減っていきます。

本当は羨ましくてしょうがないはずなのに、

素直になれません。

思っても口に出せないのです。

いいな～なんて言ったらケチな自分の否定になって

自我が崩壊してしまうからです。

特に人におねだりするとかは

マジで無理ゲーです。

例えば学校で

友達がお菓子を食べていて

「え～それ美味しそう～！
ひと口ちょうだい！！」

なんてのは普通にある光景だと思いますが、
僕はこれが本当に無理なのです。

心の中では

「うまそう、、、俺も食べたい、、、」
と思っていますが、素直になれないので
目の前なのに見て見ぬふりをします。

なんだか怖いのです。

自分も欲しい～と言って
断られたらどうしようとか、

もし貰えたとして、
後でなんか要求されるんじゃないか・・・とか。

どんな友達やねん・・・って感じですが、
僕は勝手に恐れていました。

なので、急に窓の外を眺めたり、

机に突っ伏して寝たフリを始めたりします。

不自然です。

不自然極まりないです。

でもそうでもしないと、

仲間に入れたい自分に耐えきれないのです。

こんな風にどんどん自分から孤立する方向に
爆進し始めます。

自滅です。

デストロイ・マイセルフです。

そういえばお茶の事で

友達にガチギレした事もありました。

僕はお弁当用にペットボトルのお茶を

学校に持って行ってたのですが、

お昼時になると友達が

「お茶ちょうだーい」と

言ってきたのです。

本当は超絶嫌だったのですが、
さすがに嫌とも言えないので、
しぶしぶ飲ませていると、
流れで他の人にも飲まれるのです。

そしたら自分の飲む分が半分ぐらいしか
無くなって、それに耐え切れず
ブチ切れたのです。

「いやいやいやいや、お前らどんだけ飲むんだよ！！」

もちろん友達全員

「??????」

状態でした。

「なんでこいつ怒ってるの？
え？お茶飲みすぎたから???

やば・・・」

という痛い視線が半端なく、
僕は更に孤立への道を進んで行ったのです。

お茶をちょっと飲まれたぐらいでブチ切れるなんて
恥ずかしい限りですが、、、
でも、当時の僕にはたかが
ペットボトルのお茶ですら重要なことだったのです。

こんな風にどんどん性格が悪くなる一方です。
心の余裕が1ミリもないのです。

「奪われるんじゃないか？」

という恐怖で誰も信用できません。

楽しんでいる奴は全員敵。
家庭では親が毎日ケンカでストレスフルだったので
親も敵です。

敵だらけです。

ぶっちゃけ辛いし寂しかったです。
でも、どうすれば良いか分からなかった。
なので僕はそういった弱気な感情は全て封印しました。

例え思っても絶対に口には出しません。
なぜなら辛いと認めたら雑魚になる気がして
自我崩壊するからです。

すごくもったいないですよね。
素直に認めれば良いだけなのに。
本当は人生を思いっきり楽しみたいんだと。

家族で旅行に行ったり、
文化祭でみんなを巻き込んで何か面白い事をしたり、

それがきっかけでクラスの女子といい感じになって
付き合ったり、
彼女と浴衣で夏祭りに行ったり、映画を見に行ったり、

そんな絵に描いたような青春を送りたいんだと。

でも認められません。
そんな事を言おうものなら、
今までの人生の否定になってしまいます。

ケチで18年生きてきた人生が無駄であると
認めるのが辛いのです。

これは高校を卒業するまでずっと続けました。
みんながおかしいんだ。俺がっているんだ。

そんなわけで全然人が寄ってきません。

しかも当時の僕は
デブでニキビだらけなのがコンプレックスで、
自分に自信がなく完全にコミュ障でした。

女の子から

「ねーねーそれ取って」

などと話しかけられると

「ふ！wえ、あ、えあ、お、ほ、ほ、ほら！！！」

という感じのコミュ障だったので
高校3年間で女子と会話したのはリアルに
3回ぐらいです。

おまけに当時は両親が毎日ケンカしているのもあって、毎日イライラしていて負のオーラ全開でした。

たぶん犯罪者みたいな顔をしてたと思います。
性格も悪いので邪気の塊みたいな奴です。
一緒にいるだけで幸せを吸い取られる気がします

僕が女だったらどんな手段を使ってでも
付き合いたくありません。

というわけで全然人が寄ってきません。
楽しくありません。
孤独です。

なので僕の青春時代は、学校が終わると
本屋でヤングジャンプを見て
エロいシーンでニヤニヤして、

家に帰ると2chを見て、

「リア充氏ねえええええええ！！！！」

とか書き込んでいる生産性0%の人生でした。

しかし、大学進学でちょっとした転機が訪れます。

居酒屋のバイトです。

時給720円でした。

22時以降は900円。

コミュカゼロなので接客業なんて
1ミリもやりたくなかったのですが、

お金がなくて死にそうだったのと、
友達が「一緒に受けようぜ」というので
仕方なく受けたのです。

暇だったので
シフト全部出れると言ったら
僕だけ受かってしまいました。

高い皿割ったり、お客さんにお酒こぼしたり
超使えないバイトでしたが、
お金が欲しくて暇な日はバイトに注ぎました。

深夜3時まで働いて、次の日は学校サボったり。
今思うと大分カスでしたが、7万円ゲットしました。

僕は感動しました。
だって70000円です。超大金です。

店長が給料の計算ミスったのかと思いました。
それぐらい当時の僕には大金です。
ATMで何度通帳を見返したかわかりません。

定食屋で大盛りを食べられる。

もう「今日は何味のもやし炒めにしようかな〜？」
と悩む生活ともオサラバできる。

妄想爆発です。
あの時の人生が拓ける感は今でも覚えています。

嬉しすぎました。
うまく言葉にできませんが、人生の希望です。
新しい人生のスタートだ——！！

大げさかもしれませんが、
ガチでそんなことを思っていました。

そして、大金を手にした僕は思いました。

自分の金なんだから使っても誰にも
文句言われぬぞ・・・・

僕は雑誌に載っているような
ブランド物の服を買いまくりました。

高校時代に服がダサいと
バカにされたのがコンプレックス
だったからです。

とは言っても、
ケチな根性は染みついているので、
買うのはもっぱらヤフオクとかです。

毎日1000件以上の商品を
2～3時間かけてひたすら見るのです。

で、型落ちの服を安く手に入れて

やったー！と喜びます。

でも実際に着てみると、
サイズが合わなかったり毛玉だらけだったりして
結局あんまり着ずにタンスの中に溜まっていきます。

今考えると完全に時間の無駄です。
そんな時間があるならバイトを増やして
欲しいやつの新品買えよって感じです。

でもケチなのでそんな発想は微塵も浮かびません。

時間<<<< ×1000 <<<< お金

なのです。

成功者からは一番遠い考え方です。

時間をかけたりリスクを取ってでも、
とにかく安く買うのが最高！

「安物買いの銭失い」のお手本のような感じでした。

今考えると明らかに間違っている価値観なんですが、

なにぶんプライドが高いので自分が間違っているとは決して認めません。

なので、お得に買えたやつだけ

「これヤフオクで3000円だったんだよ〜」

と、友達に自慢してました。

完全に見栄の塊です。

あれです、パチンコやってる人が
勝った話しかしないのと一緒の原理です。

そんな感じで無駄だらけだったので、
結局バイトをしてもお金があったのは最初だけで
基本的に金がない金がない状態でした。

皮肉なことに僕は一番嫌いな母と同じ
価値観になってしまったのです。

母は安い服やバッグを買い込み
少し使ってはタンスの中にしまってばかりでした。
それが原因で父と喧嘩が勃発。

僕は小さい頃からその姿を見ていて、
それが嫌でケチになったのに、
お金を持ち始めたら母と同じことをしていたのです。

金金金だー or 節約節約だー
こんなことしか考えてませんでしたね。
しかも節約の仕方完全に間違ってるし。

学生の頃は今みたいにお金を生み出すという
発想はないので、ひたすら楽で時給が高いバイトを探していま
した。

で、就職活動の時期になり、
良い会社に入ればお金がもらえるだろうと思い、
トヨタ自動車に行くことにしました。

なんか知りませんが、ラッキーなことに
その年は大学の推薦枠が余っていたのです。

クルマ、嫌いじゃないし、
将来は年収1000万円・・・

うほほほーーーーーい！！！！

下心丸出しです。目が¥マークになっていました。

でもそれじゃ面接に通らないと思ったので、
面接ではめっちゃ綺麗ごとと言いました。

そしたら受かりました。

ほぼ落ちることのない
学校推薦を使ったので当たり前っちゃ当たり前ですが。
学校に感謝です。

で、そこに行ってもこじらせます。
保険やら税金やら奨学金やら車のローンを
払ったら全然お金が残らないのです。

学生の時より金ないやんけ

その結果、ケチがぶり返します。

同期はクルマ好きが多いので、

「週末にカート（遊園地のゴーカートみたいなやつの本格版）
行こうぜ〜」

とか誘われますが、社会人にもなって

「お金がないので行けない」

と言うのも恥ずかしいので
適当な理由をつけて行きません。
そして家でyoutubeや2chまとめを見ます。

おいおい、せっかくの週末に何してんだよ・・・

と言いたいところですが、
お金が勿体ないからしょうがないのです。

週明けになると、
同期がカートの話で盛り上がっていて
その光景を見て勝手に疎外感を感じます。

行かないって断ったのは自分なのにね。
勝手にムカついて

「奨学金返さなくていいやつは金あっていいよな。
親に感謝しろよ！！」

なんてことを心の中で叫びます。
もうほぼ逆うらみです。

根性ねじまがっちゃってます。
でも、そうでもしないと自分が惨めになるのです。
自分が人生楽しんでないのに、人が楽しんでいるのを素直に
認めることが出来ないのです。

で、プライベートのみならず、
仕事でも負のデフレスパイラルに陥ります。
周りがみんな優秀なのです。

同期には東大とか京大、慶応がゴロゴロいて、
みんな仕事出来るし頭が良いのです。

僕みたいな学部はショボい大学で
大学院だけ裏技を使って良い大学行った人間は
ちゃんと勉強してないので頭が超絶悪いのです。

高校の物理もうろ覚えなのに、
大学でやるような難しい物理の話とか
始められてもマジで宇宙語にしか聞こえません。

なので先輩や同期に劣等感しか感じません。

会社でプレゼンする時も、

「えー、あ、、、の、、、えーと、ですねえ、、、」

みたいなゴミみたいなプレゼンをかまして、
もの凄い険悪な雰囲気になりました。

もう上司の視線が怖すぎる。

部下の出来が悪いと上司の顔が潰れるからです。

偉い人に

「ここどーなってるの？」

と、つっこまれても

「あ、、、えー、、、あの一、あのですね、、、。

ちょっと一旦調べてからまたご報告します、、、」

と決まり文句のように言って逃げます。

もうこの時の脇汗の量は尋常じゃないです。

今考えるとプレゼンに関しては

完全に準備不足でしかありませんでしたが、
当時の僕は上手く出来ないことは全部頭が悪いせいにしてしまします。

良い大学出身の同期がペラペラと
プレゼンしているのを見ると、

「あーあいつは東大だしそりゃ優秀だわ。
元々頭良いやつはいいよなー」

とか平気で言っちゃいます。

で、逆に優秀な人がミスると、
「東大のくせにそんなことも出来ねーのかよワロスwww」

と、水を得た魚のように得意げになって
心の中でバカにしまします。

もうクソみたいな人間です。

本当は自信が欲しいのに。上司や先輩から頼りにされたいのに。

「別に」と言って、人の批判か妬みしかしません。
自分は努力しないくせに。

いい要素ゼロです。その上どケチだし。

成功しないテンプレートのような人間でした。

でも、さすがにそんな僕でも会社の年次が上がるにつれて、少しずつですが仕事に慣れ始めます。

お金も1年目みたいな月末には
口座残高ゼロということも無くなりました。

すると、少しずつ心の余裕が出来て、
周りのことが冷静に見えてきて、色んな事に気付き始めます。

例えば、僕の職場ではうつ病で休職する人が
異常なほどいました。

それも新人ではなく、40、50代のおじさん達です。
30人ぐらいのグループでしたが、常に誰か一人は
うつ病で3ヶ月ぐらい休職していました。

僕に仕事を教えてくれていた職場先輩もうつ病になって、
途中からいなくなりました。

会社に行こうとすると、やばいぐらい汗が吹き出したり、
仕事をしようとする、全然頭が働かなくなって、
エクセルで簡単な表を作るのすら難しく、
ミスが連発すると言っていました。

確かに周りを見渡すと、
楽しそうな人は一人もいません。
みんなゾンビみたいな顔で仕事をしています。

仕事が次から次へと降ってくるので、片付けても片付けても
終わらず、上の人ほど夜遅くまで残っています。

いい年のおじさん達が上司に怒られて、
「はあ・・・」とため息をつきながらデスクに向かっている
様子を見ると、

「俺も将来ああなるんだろうか・・・？」

と、不安しか感じません。

みんなお金はたくさん貰っているはずですが、
全然幸せそうじゃないのです。

会社の飲み会ではいつも上司の悪口や会社の愚痴、
住宅ローンのせいでお小遣いが1万円しかない
という話ばかりで、

参加しても超絶つまらないのです。

これだったら家で2chまとめを見てる方が
よっぽどマシです。

週末は週末で、
会社の運動会とか駅伝大会という謎の行事に
出席せねばならず、プライベートがガンガン潰されます。

「誰がこれに参加したいんだよ・・・」

と、いつも疑問に思っていました。

なんか、将来に夢も希望もありませんでした。

先輩たちを見ていると、
将来自分もあんな感じになるんだろうなって
大体想像つくじゃないですか？

それでめっちゃめっちゃ萎えました。
人生つまんねえ。会社の歯車じゃねーかと。

年次が上がるほど仕事はどんどん忙しくなっていて、
家に仕事を持ち帰ったり、休日出勤したりでしんどいし。

かといって、プライベートで特にやる事がある訳でもないのに休みは暇だし。

どんどん時間の流れが早くなり、

あれ？もう今年終わり？

と、思った時は虚しくなりました。
俺の一年すっかすかじゃねえかと。

で、そんな自分とは対照的に、
SNSを見てると、大学時代の友人は
週末みんなが集まって海に行ったとかスノボ行ったとか、

新しいプロジェクトを任されたとか、
社内で表彰されたとか、なんやかんや楽しそうで、
こんな片田舎でクソみたいな日々を送っている
自分との差にムカつきました。リア充自慢うぜえと。

何も楽しいことねーし、忙しいから金使う暇もねーし、
相変わらず周りは優秀で劣等感しか感じねーし、、、

なんとか今のクソみたいな人生抜け出してえ〜〜〜

そんな事を思っている時に、
たまたま起業セミナーなるものを見つけて行ってみました。
「副業」というワードにちょっと興味が湧いたからです。

講師の人は40代のおじさんで複数の会社を持っていて、
年収はトヨタ社員5人分ぐらいありました。

それまで僕は自分でビジネスをしている人なんて会ったこと
なかったので、とりあえず桁違いの収入に
起業家すげえと思いました。

セミナーでは、講師のおじさんが言っていたことに
僕はめちゃめちゃ興奮しました。

講師の人

「起業家とは、いついかなるどんな状況環境でも
自分や他人の力を使って自由にお金を生み出す錬金術士です」

自由にお金を生み出す・・・

なんだそれ、めちゃめちゃカッコいいぞ・・・

会社でクソ上司の査定を気にして、ヘコヘコしながら給料を
貰うのとはワケが違う・・・

自分で金稼げたらトヨタの優秀なやつらにも勝てるやんけ・・・

もう大興奮です。

もしかしたら俺の人生変わるんじゃない？

そんな気がしたからです。

もちろん不安もありました。

本当に俺なんかに出来んのか？

失敗したらどーしょ？

ビジネスなんて今までやった事ないし、

周りにやってる人もいなかったのでも未知すぎて

不安しかありません。

でも講師の人が、最初は小さい規模で始めれば
失敗しても痛みはないと言っていたので、
たしかにそーだなと思い、始めてみる事にしました。

どうせ家でやる事ないし、
上手くいったら会社辞めれるかもしれん。

そんな軽い気持ちでした。

そうしたら起業家の金持ちの世界を見ることになります。

起業セミナーの講師の人もすごいとは思いましたが、
世の中には僕の師匠みたいに23歳でほとんど働かずに
年収1億円稼いじゃう人間が存在することを知りました。

普通の人の子生涯年収を2年で稼いでしまうのです。

金を使っても
使うスピードよりも貯まるスピードのほうが
早いから使い切れないとっていました。

もうパニックです。意味不明です。

リアル金持ち父さんの世界です。

そこら辺にいそうな普通の兄ちゃんが
人生アガっちゃってるのです。

アリと像並の格差に
もはや悔しいという感情すら湧きません。

住む世界も見ている景色も考え方も全て違うのです。

話を聞けば聞くほど、
僕みたいなただただドケチな人間は成功から
最も遠かったという事を思い知らされます。

金持ちは金を情報や人脈に投資して、
良い情報を得て、さらに収入を増やすという
最強のスパイラルの中で生きています。

しかも全てが楽しそうです。

仕事も楽しそうだし、遊びも楽しそうです。
ふらっと気分で海外に行ったり、
何も気にせず高級ホテルのスイートに泊まったり。

で、そこで新しい情報を得て、さらに富を増やしていく。

金持ちのところには金も情報も集まってくるので
金持ちはどんどん金持ちになるように
世の中出来ているんだなと思わされました。

こりゃ差しか生まれねえわ・・・

とは言っても、話を聞くと、
僕の師匠だって元々はケチで貧乏で、
その上引きこもりだったらしいのです。

今とは真逆な価値観でしたが、貧乏を抜け出すために、
努力もしたし、成長もしたと。だからこそ今金があるのだと。

そう言っていました。

ただ、その努力の方向性が僕みたいな
サラリーマンとはそもそも違っていた。

危険物乙4だとか簿記だとか資格を取って
人に使われるための勉強は一切しない。

金を稼ぐことに直結することだけ勉強したのだと。

なんかカッコよかった。

人生楽しそうだし、
自信に満ち溢れてるし、
金もあるし、
時間もあるし、
やりたいこといつでもできるし、
人間関係に恵まれているし、
話面白いし、色んなネタ持ってるし。

同じ人間の人生かよ。
カッコよすぎだしすぎるすぎました。

いつもの僕なら認められず、否定して拒絶していましたが、
圧倒的すぎて、否定のしようがありませんでした。
どう考えてもこっちの世界の方が良い。

だから僕はこっちの世界に入ることにしました。
そして、金持ちが何をやって金持ちになっているか
徹底的に学びまくりました。

そしたら、貧乏人がのし上がるには
情報に対して投資することが
一番近道で楽だということが原理レベルで
理解できました。

そして、行動しました。

本を読んだり、動画を見て学んで、サイトを作って・・・
そしたら5ヶ月目には40万稼ぐことが出来てしまい、
新しい世界への入り口が徐々に見えるようになってきました。

ケチな価値観じゃダメだと認めて、
素直に学んだおかげで、自分が羨んでいた

楽しそうで、
自信満々で、
金もあって、
時間もあって、
やりたいこといつでもできて、
人間関係に恵まれていて、

の状態を少しは再現できるようになりました。

大げさじゃなしに今の方が1億倍人生楽しいです。

僕の場合、元々がクソすぎたってのはありますが。

ビジネスと出会ったおかげで
今では昔の自分じゃ絶対ありえなかった
たくさんの事が出来るようになりました。

例えば、
youtuberをゲストに呼んでイベントを開いたり、
ヒッチハイクで旅をしたり、
母校で高校生相手に特別授業したり、外国で友達作ったり、
海外でぶっ飛んだ人と知り合って刺激をもらったり。

マジ別人です。昔だったら1000%不可能ですw
自分に自信つくだけでこんなに人間変わるもんかとw

ちなみに、最近知り合ったぶっ飛んだ人は
高校を卒業してすぐアメリカに渡り、
ロスとラスベガスのバーでチップだけで2000万円
稼いでFXで2億に増やしたって人で、
マジでクレイジーで面白い人でした。

誰がなんと言おうと
人生は楽しんでいる奴が得なんですよ。

昔、会社の研修で
「今与えられた環境で、出来る事を精一杯頑張るのが大事」

とか教えられましたが、マジ洗脳ですw

普通に考えて、つまんねーもんはどうやったって
つまんねーっす。

会社のおっちゃん達はそれを認めると
自分の人生の否定になるので、
絶対認めようとしませんが、合わないものは合わないのです。

アレルギーとかと一緒にです。

で、つまんないなら抜け出す努力をしないと
一生つまんないまんまです。

新しい世界を学んで学んで学んで、
行動して行動して行動しまくって、

昔はそんなのだりーと思ってましたが、
やってみるとこれめっちゃめっちゃ楽しいんですよ。

皮肉なことに
僕は僕が最も嫌いだった人生楽しんでいる奴になりました。
けど正直こっちのほうがいいんですよ。

絶対に戻りたくないですもん昔の自分。
毎日ゾンビみたいに顔死んでたしw
あんなんじゃ人生後悔しか残らないすw

昔言ってた事と今やってる事真逆です。
でもいいんですよ、もはやプライドとか皆無ですw

ケチの価値観ももはや完全に消滅しました。
デストロイ・ケチです。

今は知識を得て富を生み、さらに知識を得て
さらなる富を生む、、、

といったプラスのスパイラルです。

ケチだった時とは真逆の価値観です。

自分でビジネスをしてお金を稼ぐって超楽しいんですよ。
自信にもなるし、経験にもなるし知識もつくので
悪いことがない。

昔はパソコン使ってビジネスとか俺に出来るわけねえ・・・

と心配してましたが、完全なる取り越し苦労でした。
だって未だに専門的なスキルありませんもんw

プログラミングとかまじでイミフですw

残念ながらメール出したり、
ワード使うぐらいしか出来ません。

でもそれで十分。
何か分からなかったらGoogleで検索すれば良いだけですし。

年齢も性別も経験も関係ない。
だって主婦で月収50万円稼いだり、
大学生で月収100万円稼いでる人普通にいますからね。

才能も全く関係なくて、正しい知識を学ぶかどうか。

確かに教科書や教える人がクソだったら、
いくら努力しても死にますけど、
ちゃんとした知識を学びさえすれば、あとはやるかやらないかの世界です。

で、やってるとどんどん色々なスキルが身についてきて、
人との縁もどんどん増えます。

オフラインのビジネスをやっている自分よりも
はるかに年上の人に

マーケティングのアドバイスを求められたりとか
普通にあります。

で、アドバイスすると、

「なんでそんな事が思いつくの???'」

と、驚かれます。

僕は師匠に教えてもらった事をそのまま話してるだけ
なんですけどね。

それだけ、ネットビジネスの知識は最先端だし、
色んなビジネスに応用が利くのです。

こんな風に人に頼られるようになると、
どんどん自信がつきます。

昔の僕は自信がなかったので、人と話すのなんて
苦痛でしょうがなかったですが、
今の僕であれば人前で話すことも全く苦でもありません。
むしろ話すの楽しいくらいです。

プレゼンで「えーと、あの一」しか言えずに爆死してた
ダメ社員がこんなに変わるのです。
そりゃ人生楽しいに決まっています。

何か出来ないとすぐ「俺は頭が悪いから」と
頭のせいにしていた僕が今では
地頭を良くするやり方を教えたりしています。

完全に別人の人生です。

地元に戻ると、別人すぎて毎回お前誰だよ。って
ツッコまれます。

見た目も性格も全く違うからです

僕からすると黒歴史すぎてあの時の自分は
全員の記憶から抹消したいです。

メン・イン・ブラックで映画に出てくる
ピカってやると記憶消せる道具マジで欲しいですw

こんな僕ですが、おそらくオフラインのビジネスだったら
ここまで変わることは出来なかったと思います。

だって元がコミュ障ですもん。

対面営業とか無理です。

脇汗尋常じゃないぐらいかくし、

キョドリまくって会社のプレゼンみたいに爆死します。

「ネット」ってのが良かったんです。

相手の顔を見なくても良いし、
自分も顔を出さなくても稼ぐことが出来るんですよ。

記事も文章だから変だったらいくらでも修正できるし。
面と向かって話す事が無いから遠慮なく物が売れる。

つまりハードルがめちゃくちゃ低い。
最初ハードル高いと何もできませんもん。

それに元手がかからないからリスクもないので
失敗してもいくらでもやり直せるのがいいなあと思います。

オフラインだったら在庫やら事務所の家賃やら、
社員の給料やら色んな事を考えないといけないので
めちゃお金要りますし、半端じゃなく不安ですもん。

ネットビジネスなら自宅でもカフェでも
パソコン1台あれば仕事ができるのでお金もかからないし
気楽にできます。在庫を抱える事も人を雇う必要も無いです。

サイトを作って、仕組みが完成するまでは集中して作業する必要がありますが、一度仕組みを作ってしまえば、あとは勝手に人が訪れてサイトが自動的に稼いでくれます。

なので放置でお金が入ってくるのがネットビジネスの良いところです。

例えるなら、ネット上に補充の要らない自動販売機を設置するような感覚で、要は不労所得ってやつです。

響きが怪しいので「不労所得」って言葉は個人的にはあんまり好きじゃないんですが、働かなくても勝手にお金が入るので要は不労所得です。

で、仕組みが出来たら暇になるのであとは遊んでもよし、また違うジャンルのサイトを作って更に収入の柱を作るもよしです。

それに、お金もそうなんですけど、
ネットビジネスってすごくやりがいあるんですよね。

僕のところには色んな人からビジネスや仕事の悩み相談が来る
んですが、世の中色んな人生を送ってる人がいるんだなーと
話を聞いていてめっちゃめっちゃ面白いです。

歌舞伎俳優の付き人してましたーとか、
銀座の高級クラブでホステスしてましたーとか
高校生なんですけどネットビジネスやりたいですーとか。

今までの自分だったら絶対知り合わなかった人達の
人生が聞けるんです。

それぞれの人に事情や背景があって、
たまたま僕のブログやらツイッターやらyoutubeを
見て連絡をくれて繋がるって
めっちゃめっちゃ面白い事だなと思います。

こういう風に楽しい事だけやれてるってのは幸せですね。

僕の師匠みたいな年収1億円を超えてる人だと、
もはやただお金が欲しいっていうステージは
完全に抜けてるので

自分をワクワクさせてくれるものに興味が湧くみたいです。

なぜなら単純にお金を使い切れないからです。
楽しいことや成長すること面白いこと
知的な好奇心刺激されることに
テンションが上がってそれを仕事にするんですって。

最高かよって感じですよw
早くそのステージに行きたいw

僕も昔は年収1億なんて絶対無理だと思っていましたが、
話を聞くと、ちゃんとやればイケる世界だと分かったので
ひたすら学んで行動していこうと思います。

楽しいことや打ち込めるものが見つかる
と一気に人生希望に満ち溢れます。

このレポートは僕みたいに他人の成功が羨しくて
つい批判や悪口を言ってしまう人がもしいたら、
そんな人が変わるきっかけになれば良いなあと
思って、僕の黒歴史も含めて書きまくりました。

確かに世の中は不公平です。
不満を言いたくなる気持ちも分かります。

親がお金持ちで、休みになると
バンバン海外旅行に行っている人もいれば、

両親が美男美女のイケメンでおまけに頭も良くて
医学部なんて人もいます。

それに日本はお金持ちが得して
貧乏人は損するような社会構造になっています。

不公平でしかないです。
昔の僕からしたら全員くそったれだし、
全員死んでしまえです。

でも、不公平だからといって
それを恨んだり不満を言っても

誰も助けてもくれないし、何とかしてくれないです。

そりゃあ僕だって、

お金持ちの家に生まれて、
イケメンで痩せてて肌がきれいで身長が高くて
頭も良くて社交的で女の子にビビらなくて
どっかの大企業にコネがあって

生まれた時から人生楽しみまくれてるような人間だったら
どんなに良いことかと思えますけど、

ぶっちゃけそんなの無理じゃないですか。

資本主義社会である以上、
格差がないなんてありえないですし、
あって当たり前のことです。

悔しいけれど、それは認めないといけません。

その上で、自分の人生をよくするためには
何をすればいいか？
を考えたら良いと思うんです。

運が悪いからと自分の人生を諦めてしまうのは
あまりにもったいないです。

海外にいるからこそ分かりますが、
今の日本はどんな人だって正しい努力をすれば
人生を変えられる国です。

身分制度も無いし、字も読み書き出来るし、
ちょっとバイトすればパソコンも買えます。

「そんなの普通じゃん」と思うかもしれませんが、
これって全然当たり前じゃありません。

そもそもスタートラインに立つまでの
道のりが半端じゃなく遠い国なんていっぱいあります。

だからこそ、日本人は
ちょっと本気になれば人生を簡単に逆転出来る
ポテンシャルを秘めていると僕は思います。
実際僕にだって出来ましたし。

生まれた時から何不自由ない人生より、
逆境から人生変える方がネタになるしカッコよくないですか？

なので、僕から提案できるのは
バイトでもサラリーマンでも、資本主義社会にいる限りは
お金からは逃れることは出来ないので、

自分でビジネスをやって仕組みを作れる
無敵のスキルを身につけようぜってことです。

人生寝ているか遊んでいるか仕事しているかですし、
サラリーマンなら人生80年のうち、半分の40年は仕事に
費やすわけです。

それならやりたくない事よりやりたい事やった方が
幸せじゃないですか？

ビジネスを学びまくると、仕事が遊びみたいになるので
非常に楽しめます。

退屈な人も変われるし良い事ばかりです。
恐ろしいくらいうまい話しかありません。

日本は本当に成功するのが簡単な国です。
日本に生まれて良かったです。

ブログ、Youtubeでもビジネスの情報を
発信しているので、ぜひ学んじあって下さい。

マスタング